

令和3年度第1回防府市環境審議会 会議概要

1 開催日時	令和3年8月20日（金） 午前10時から午前11時15分まで
2 場 所	防府市役所 4号館3階第1会議室
3 出席者	<p>【委員】 中尾委員、関根委員、島添委員、石本委員、小野委員、谷野委員、角田委員、東委員、池永委員、山田委員、阿部委員、上川委員、岸本委員 （欠席委員：木村委員、大嶋委員、藤原委員、広政委員、杉山委員、中國委員）</p> <p>【行政】 入江生活環境部長、金澤生活環境部次長 （事務局） 生活安全課：原田課長、乙吉環境政策室長、原田、沼田、岡田</p>
4 傍聴者	4名（内容2 報告事項は非公開）
5 内 容	<p>1 議事 「防府市環境基本計画（第3次）」の策定について</p> <p>2 報告事項 協和発酵バイオ株式会社山口事業所の核酸精製工場の新設に伴う環境対策について</p> <p>3 その他 防府市地球温暖化対策地域協議会事業について</p>
6 会議内容 ※表現の一部は、簡略化している。	<p><u>1 議事</u> 防府市環境基本計画について ・事務局から「資料1」「資料2」により、第3次計画の概要、素案の説明 [質疑応答]</p> <p>A委員：それぞれの施策の前にSDGsの1番「貧困をなくそう」、3番「すべての人に健康と福祉を」といったピクトグラムのようなものを載せたのはいいと思うが、8ページにある一括のものをマークとして捉えている方が最近すごく多い。1つ1つの意味合いがなかなか浸透していない。1つには、こうやってSDGsとして掲載される時は大抵この大きさで、この中の文字まで意識がっていない。なので、この8ページの部分を、1ページにしてどんと目に入るように作ってもらい、施策の上で「3番はこういう意味」と結びつくようにしてほしい。今の大きさのこの文字だと子供でも読まない。あともう1つ。脚注が各ページに載せられているのはいいと思うが、通常脚注のように、例えば注釈番号にせず太字にされた意味は。学校の教科書で習ってきたように、太字があるとそこだけがキーワードとして読んでしまう癖がある。本当にこの太字がキーワードで全体が分かるならいいが、単に脚注であれば誤解を招く部分があると思うので、表記の方法をもう少し考えられたらと思う。</p> <p>事務局：SDGsについては、1ページにするような形で検討する。注釈についても、今後注釈番号とか※印をつける等修正を検討する。</p> <p>A委員：脚注の太字はとてもいいと思うので、そのまま。</p> <p>B委員：44ページ1行目、CLT工法の脚注がない。</p>

事務局：修正する。

B委員：地球温暖化対策の推進12ページの市の取組に「森林などによるCO₂の吸収」が入っているが、上の事業者の取組のところではそれが希薄。大規模な事業所はCO₂の排出源の代表みたいなものなので、それに対して市の取組に対応した格好で何か文言を入れてもらえたら。例えば取組の1項目2行目、省エネルギーの表現。間接的なCO₂排出削減の表現になるので、その次くらいに入れてはと思う。検討してもらえたら。

事務局：CO₂の排出抑制、削減の取組ということで、事業者の取組1つ目で事業所での省エネの取組に努めますのところで、省エネルギーに配慮してCO₂の削減とか排出抑制に努めるといった形での修正を検討する。ただ、その時、市民の取組に記載していないので、11ページの市民の取組1つ目に気候変動に関心を持ち、CO₂を減らす方向に努めるような形で修正を検討する。

B委員：バランスも考えながら願います。

C委員：太字の意味が分からない。もう1つは、資料2の2ページ目に数値目標②市域から排出されるCO₂、流動的だと思うが、今後国の方針が示された後、変更するのか、どのように変更するのかを聞いておきたい。3つ目、環境基本計画の中で1つのセクションの最後に進捗管理指標があるが、この指標が市民、事業者、市の取組で述べられていたことをカバーできているところと、できていないところがあるように思う。もちろん全てのカバーはできず、それぞれのカテゴリの代表指標で管理するのは当たり前のことで、指標が少なくなるのは当然だが、カバーされていないところが結構あるのではと感じた。前回の審議会でも目標値を次回の宿題としていたと思うが、まだちょっと進捗管理指標の練りが足りないと感じた。今後も審議する機会があるのだろうと思うが。

事務局：1つ目は先ほどのA委員からの御意見とあわせて修正していきたい。2つ目の温室効果ガスの目標数値、現在は県計画に基づいた目標数値となっている。国は2013年比46%削減を目標としているが、部門別の内訳など具体的数値が公表されていないので、現在は県の目標を基準として算定している。令和8年度に中間見直しをする際に、国の見直しなどを踏まえることになると思う。3つ目の進捗管理指標については、元々意識調査のアンケート調査結果が指標となっているものが多くあったものを、実績として評価できる指標に変更している。指標が少ないという意見もあると思うので、意見をいただきながら今後検討していきたい。

C委員：指標について、例えば指標の内容について次回審議会の開催までにまとめて意見してほしいとか伝えてもらえたら、具体的に考えられる。

事務局：今日お示した中で、次回審議会の開催までに、事前にやり取りをさせていただいて、ご意見をいただき進めていきたい。

B委員：形式的なものだが、進捗管理指標について。17ページは地球温暖化対策の推進の3施策のまとめという風に分かるが、32ページにいくと、どこの項目の指標かなという風に見えるところがあるので、検討いただきたい。

事務局：修正する。

B委員：期待だが、デジタル化が言われているが、それと関連するものがあるか。

事務局：デジタルというか、例えばICTについては、スマート農業ということでハッキリは書いていないが、そういうものが含まれている。

B委員：個々の取組の中で活用されるということか。

事務局：大きい話でいうと、移動についてデジタル化によってCO₂が削減するのはあると思う。具体的に何かあればおっしゃっていただきたい。

A委員：先ほどのC委員の話の中で、CO₂の排出量は次回見直しでとおっしゃっていたが、デジタル化についても、この3-5年で大きく社会の中がICTを使う形で変わってくると思う。令和8年度の間見直しでこの部分に注目することを、内部資料でいいので盛り込んでおいてほしい。全体として日本の社会がデジタル化で変わる中、どういう風に沿わせていくか、忘れずをお願いしたい。

議長：事務局は、本日の意見等を参考にしていきたい。

2 報告事項

－防府市情報公開条例第6条第1項第2号に該当するため非公開－

3 その他（報告）

- ・防府市地球温暖化対策地域協議会の活動報告等について（資料4）